

ウミガメ放流式

平成27年8月30日(日)春野漁港にて

高知海岸仁ノ工区で採卵保護の様子を見学して約2か月、春野西小学校のふ化場で子ガメが産まれました。4年生の皆さんが放流しました。

子ガメが海に帰る前に海岸清掃をします



協力してゴミを拾いました。子ガメが無事に海へ歩いていけますね。



ウミガメ保護活動を行っている熊沢佳範さんは、いつも小学校のふ化場まで見に来てくれたり、児童の皆さんにお世話の仕方を教えてくださいます。
産卵時期の5～8月は、毎日海岸をパトロールして、産卵の有無を確認しています。



4年生の皆さんが大人になった頃、春野の海岸に、今日放流するアカウミガメが産卵に戻ってくるかもしれません。それまで産卵できるきれいな海岸を、守ってくださいね。



放流のときは甲羅の脇を優しく持ちます

いよいよ海へ子ガメを放流します！大きくなって帰ってきてね！



春野西小学校の6年生が、4年生の保護活動の様子を取材しています。RKCの方と一緒にカメラやマイクを使っています。皆さん、真剣に取り組んでいました。



4年生の海岸清掃後、きれいになった砂浜を歩いて、子ガメは海へ帰っていきました。



最後に、ウミガメについて教えていただいた熊沢さんに感謝の言葉をお伝えしました。2学期もふ化場で子ガメが産まれる予定です。引き続きお世話を頑張ってくださいね！